



KIRIN

よろこびがつなぐ世界へ
Joy brings us together

キリングroup 2024年度決算・2025年度計画

2025年2月14日

- ここからは、24年決算と25年計画の概要について簡単にご説明します。

- 事業利益は、中長期の利益成長に向けたブランド投資や研究開発投資などを強化しながらも増益
- ヘルスサイエンス事業の成長に向けた基盤を整えるための決定を行ったことにより、当期利益は大きく減益

(億円)	2024年実績	2023年実績	増減	%
売上収益	23,384	21,344	2,040	9.6%
事業利益 *	2,110	2,015	95	4.7%
税引前利益	1,397	1,970	-573	-29.1%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	582	1,127	-545	-48.3%

定量実績	2024年実績	2023年実績	増減	%
ROIC	4.1%	8.0%	-	-
平準化EPS **	172円	177円	-5円	-2.8%

	2024年	2023年	増減	%
一株当たり年間配当金	71円	71円	-	-

- 事業利益はCoke Northeastの好業績や、Blackmoresの通年での取り込み等もあり、前年を上回って着地
- 税引前利益と親会社所有者当期利益は、次の事由によって減益
 - FANCLの段階取得差損
 - 協和発酵バイオのアミノ酸等の構造改革
 - 海外ビール事業を行う持分法適用会社の減損損失
- ROICは成長投資による負債増加と当期利益の減益により悪化
- 前年と同額の71円の配当を予定

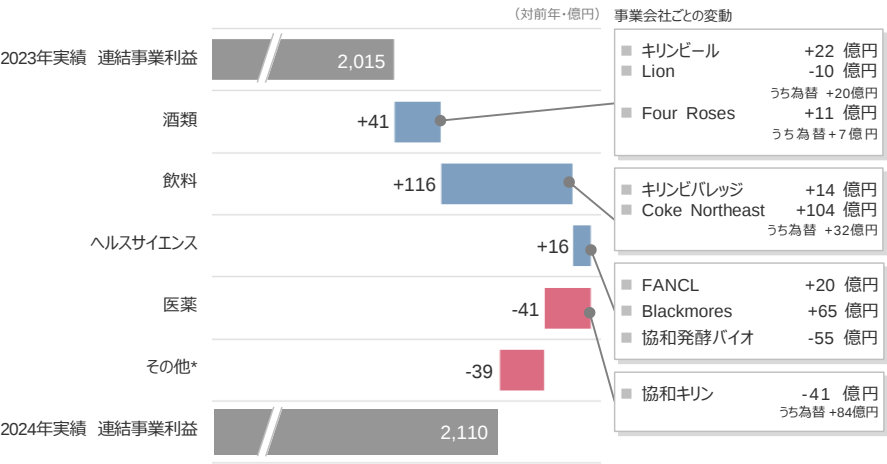
* 事業の経常的な業績を測る利益指標として、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して算出。
** 明細はp.12参照。

- 厳しい事業環境の中、ブランドや研究開発の投資を行いながらも、増収増益の決算となりました。
- 但し、税引前利益以下については、ヘルスサイエンス事業の基盤を整えるための意思決定などを行ったことにより、大幅な減益となりました。
- また当期利益の減少に加えて、ヘルスサイエンスや医薬の将来投資で負債が増えたことによって、ROICは4.1%となりました。
- 平準化EPSは172円と微減であり、配当は、昨年同額の71円を予定しております。

2024年度 実績：連結事業利益 セグメント別損益増減



➤ 医薬事業が戦略的に研究開発費を投下し減益になるも、他のセグメントでカバーして増益



補足

- 酒類事業**
- 原材料等の高騰影響を受けたが価格改定やコストコントロールによって相殺。日豪米で、注カブランドへの投資の成果が出てきており、セグメント全体として増益
- 飲料事業**
- 価格改定による単価上昇とコスト効率化により増益
- ヘルスサイエンス事業**
- 協和発酵バイオは、アミノ酸事業売却決定に伴う在庫評価減(約50億円)により赤字拡大
 - Blackmoresの通年での取り込みとFANCLの4Q実績の取り込みでカバーして全体として増益
- 医薬事業**
- グローバル戦略品の順調な成長により売上総利益は増加するも、研究開発費増加により、減益
- その他**
- 全社費用・セグメント間取引消去は情報システム費用等により増加

* 「その他」は、「その他」と「全社費用/セグメント間取引消去」の合算値

© Kirin Holdings Company, Limited

- このページは、セグメント別の事業利益増減となります。
- 詳細の説明は割愛いたしますが、一点のみ補足します。
- 協和発酵バイオは、アミノ酸事業譲渡に伴う会計処理の関係で、在庫の評価減が発生し、期央見通しよりも約50億円の減益となっています。

➤ 研究開発等の無形資産投資を強化しつつ、当期利益の大幅増益達成を目指す

(億円)	2025年予想	2024年実績	増減	%
売上収益	24,400	23,384	1,016	4.3%
事業利益 *	2,120	2,110	10	0.5%
税引前利益	2,300	1,397	903	64.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,500	582	918	157.7%
	2025年予想	2024年実績	増減	%
定量目標				
ROIC	7.2%	4.1%	—	—
EPS**	185円	172円	13円	7.6%
	2025年	2024年	増減	%
一株当たり年間配当金	74円	71円	3円	4.2%

* 事業の経常的な業績を測る利益指標として、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除して算出。
** 2024年実績には新たな計算方法で算出した平準化EPSの数値を掲載。平準化EPSの計算方法の変更についてはp.15参照。

- 事業利益は、協和キリンの研究開発費増を他のセグメントでカバーし、増益を見込む
- ヘルスサイエンス事業の構造改革が進んでいるため、親会社所有者当期利益も大幅に回復させる
- ROICは当期利益の回復などにより改善を目指す
- EPSは185円を予想（2025年から平準化しないEPSを採用する）
- 年間配当は3円増配の74円を予定

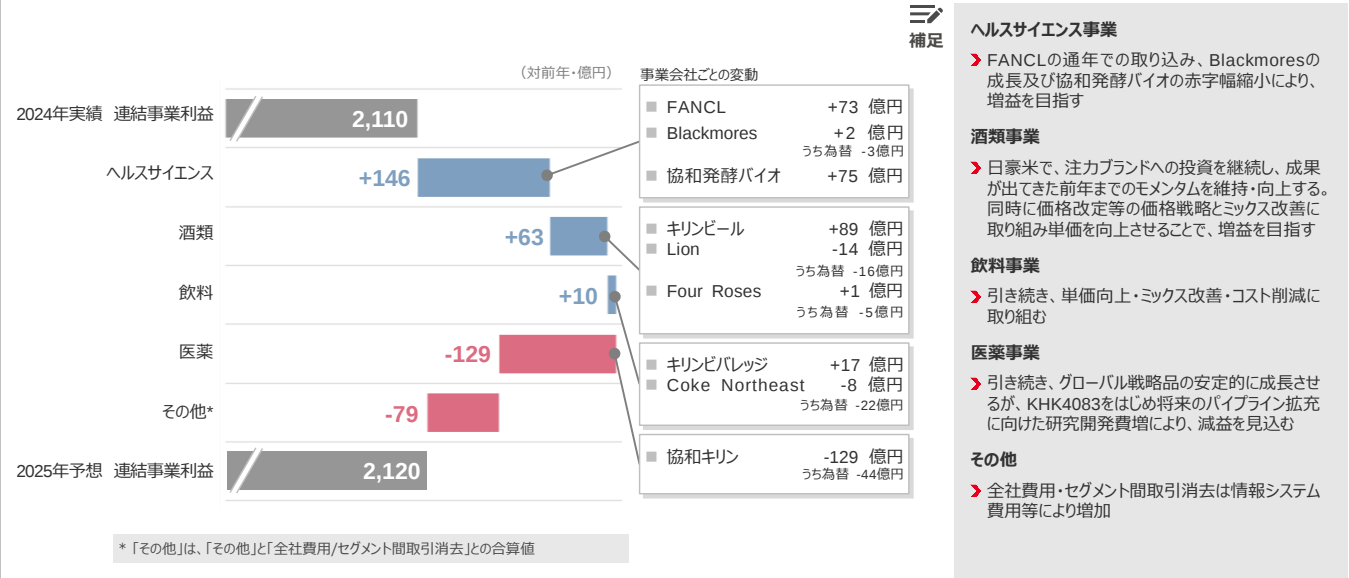
為替通期予想	為替感応度
USD（米ドル）145円	USD（米ドル）+8億円/1円安
AUD（豪ドル）95円	AUD（豪ドル）+4億円/1円安

- 2025年度も増収増益を目指します。
- 協和キリンの研究開発費増などによる100億円を超える大幅減益の影響を、他事業がカバーすることにより、グループ全体では増益を実現します。
- また、昨年度までで構造改革の目途もつきましたので、当期利益はV字回復の1500億円を見込でおり、EPSは185円、配当は3円増配の74円を予定しています。

2025年度 業績予想：連結事業利益 セグメント別損益増減

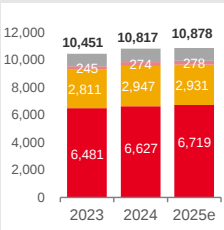


➤ ヘルスサイエンス事業と酒類事業とが牽引し、医薬事業の研究開発費増をカバーし増益

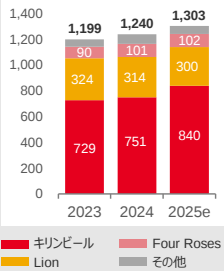


- 2025年は、FANCLのフルイヤーでの利益貢献と、協和発酵バイオの収益改善によりヘルスサイエンスセグメントの事業利益が大きく改善し、黒字化します。
- また、酒類事業も値上げによる収益改善が進みます。

売上収益 (億円)



事業利益 (億円)



© Kirin Holdings Company, Limited

2024年 振り返り

2025年 計画

麒麟ビール

▶ 主要ブランド強化・晴れ風の成功が奏功し、成長カテゴリで市場を上回る着地

狭義ビール		RTD	
市場	麒麟ビール	市場	麒麟ビール
+5%*	市場をアウトパフォーム	+5%*	+6%*

▶ 価格改定や狭義ビールの伸長などもあり、増収・増益

▶ 収益性の高いカテゴリ・商品を強化し、引き続き市場をアウトパフォームするとともに、コストアップに対し価格改定を実施することによる単価向上も寄与し収益性を改善

狭義ビール
構成比拡大



*対前年数量増減比率

Lion

▶ 通年で厳しい市場環境が続いたものの、ブランド投資の成果により市場をアウトパフォーム

▶ ビール市場が想定を大きく超えて縮小した影響により売上収益と事業利益ともに前年を下回った

▶ 市場の厳しさは続く中でも、RGM**や機能性商品強化によりビール類の市場アウトパフォームする勢いを継続

▶ ビールより限界利益の高いRTDカテゴリで市場より高い成長を実現し収益性の改善を図る



▶ Voodoo Rangerが牽引し、市場が縮小する中でも販売数量は前年並み

▶ 単価向上により売上収益は前年を上回ったが、Asheville醸造所被災の影響等により減益

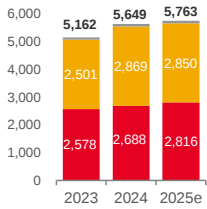
▶ Voodoo Rangerブランドを安定的に成長させると同時にVoodoo Hard Charged TeaをはじめRTDの展開を強化し収益性を高める



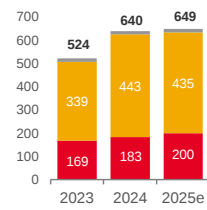
**Revenue Growth Management(最適な商品を最適な顧客に最適な価格で販売し、売り上げを最大化する手法)

- 事業領域別のポイントですが、まず、酒類事業です。
- 麒麟ビールとLION共に、ブランド力向上の取り組みとレベニューマネジメントにより、市場全体が縮小する中でも成果を上げています。
- 2025年も、この流れを継続できるよう取り組んでいきます。

売上収益 (億円)



事業利益 (億円)



■ キリンビバレッジ ■ Coke Northeast ■ その他

2024年 振り返り

キリンビバレッジ

- 販売数量の増加に加え、価格改定によって単価が改善し、増収
- 緑茶市場のコモデティ化が続く中、価格改定や販売費等のコストコントロールにより増益

2025年 計画

- 収益性の高いヘルスサイエンス飲料等の成長を加速させ、単価向上・ミックス改善で事業利益率を向上



Coke Northeast

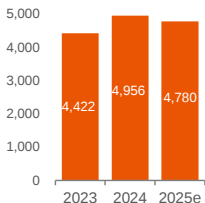
- 消費環境は底堅く、効果的な価格マネジメントによって、好調なモメンタムを維持
- 利益率が高い商品の構成比拡大と、継続したコスト効率化の取り組みにより、大幅な増益を実現

- 安定的な利益創出に向けて、引き続き消費環境を鑑みた価格マネジメントと、オペレーションの最適化を図る

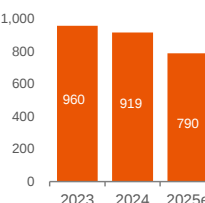


- 続いて飲料事業です。
- こちらもインフレ下の厳しい市場環境の中で、増益を実現しており、2025年もブレずにこの流れを継続していきます。
- 特に、キリンビバレッジはヘルスサイエンス飲料の拡売に注力し、健康にフォーカスした飲料会社というイメージを更に高めていきます。

売上収益 (億円)



事業利益 (億円)



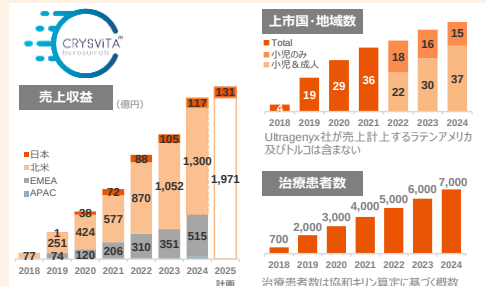
協和キリン

© Kirin Holdings Company, Limited

2024年実績と2025年計画

グローバル戦略品の成長

- エビデンスに基づくプロモーション活動や治療可能性の高い医療施設へのアクセス強化にフォーカスした結果、北米を中心に大きく伸長
- 2025年もプロモーション活動を強化し、継続的な成長を実現していく



EAP(Early Access Program)による収益は2022年度まで売上収益に含めず、2023年度以降は金額的に僅小になることから売上収益に含めている

中長期の成長を担う開発パイプラインの拡充

R&D投資の強化

- 中長期の成長を担う開発パイプラインの拡充に向け、今後も高い比率での投資を継続していく



研究開発費比率
(当期累計の研究開発費予算／売上収益予算) **22%**

KHK4083/ AMG451 (Rocatinlimab)

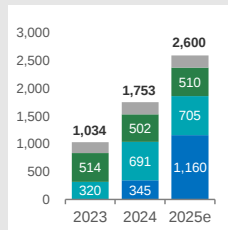
- Ph3 ROCKETプログラムについて、複数の試験結果が発表予定
- アトピー性皮膚炎における米国承認申請・販売開始に向けた取り組み、喘息・結節性痒疹における臨床試験推進

Ziftomenib

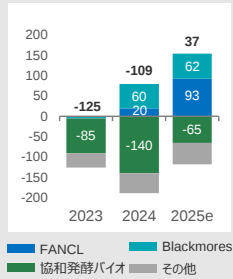
- 血液がん・難治性血液疾患、希少疾患領域の強化を目的として、米国Kura Oncology社とZiftomenibの開発・販売に関するライセンス契約を締結
- 注力疾患領域において一定のグローバル売上規模が期待でき、Life-changing バリューを提供できる後期開発パイプラインの拡充は、重要な経営課題であり、今後も継続的に探索を行う
- 急性骨髄性白血病セカンドライン単剤治療の米国での承認申請およびファーストライン治療の臨床試験を推進

- 医薬事業は、最終段階の臨床試験フェーズにあるKHK4083等の研究開発費と負担が重くなる関係などがあり、一時的に利益水準が低下します。
- しかしながら、一昨年来のM&Aなどで懸案の中長期パイプラインの充実も進んでおり、2026年以降に増益基調に戻ることを見込んでいます。

売上収益 (億円)



事業利益 (億円)

豪州 BLACKMORES  BioCeuticals

- 2024年：新商品開発や適切な価格設定・コミュニケーションによって着実な成長を実現し、+4%の増収となった。特にBioCeuticalsは、継続的な啓発活動や価格改定によって、力強い成長を実現
- 2025年：新商品の上市や、顧客との関係性の強みを活かした売場で購買体験の改善により、持続的な成長を実現する

中国 

FANCL Attenir

- 2024年：原発処理水問題の影響や消費環境悪化等により、現地セルアウトが不調
- 2025年：アテナアで一般貿易販売を開始し、販路拡大を図る

BLACKMORES

- 2024年：消費環境悪化等の逆風に直面しているが、年間の売上収益は価格改定等により、+8%増収となった
- 2025年：イノベーションを通じて、新たに進出した国内一般チャネルなどにより多くのチャネルでBlackmoresブランドを拡大していく

日本 

FANCL Attenir

- 2024年：サプリメントは紅麹問題の影響を受けたが、足元では定期顧客の水準も戻りつつある
- 2025年：化粧品・サプリメント共に新商品やプロモーションにより、消費者の需要を喚起していく中で、コミュニケーション手法を進化させ、ブランド成長を加速させていく



KIRIN

- 2024年：紅麹問題の影響は受けながらも、外部通販・量販チャネルの拡充により一桁%の増収を実現
- 2025年：サプリメント事業は販売機能一体化に取り組み、KIRIN・FANCL双方での成長のための基盤を整える。KIRINブランドとして、プロバイオ乳酸菌を中心に商品ポートフォリオを再構築していく

東南アジア 

BLACKMORES

- 2024年：市場は継続して拡大。ベトナムの一過性の問題等はあったが、マレーシアやインドネシアで二桁成長を実現するなど、全体では+5%増収となった
- 2025年：重点エリアを定め各国の市場特性にあった取組みを進めていく。特に展開チャネルの拡充や新剤型への取組みにより、アクセスする顧客を増やしていく

- ヘルスサイエンス事業は、FANCLとBlackmoresの買収で事業基盤が整いました。
- 2025年は、それぞれのオーガニックグロースに加え、統合効果を創出していくフェーズに入ります。
- まずは、日本国内でのKIRINとFANCLのサプリメント事業の統合準備を進めます。コストシナジーの創出に加え、FANCLの分厚い顧客基盤に麒麟のマーケティングの知見を加えることで相乗効果を出していきます。
- 豪州・中国では各事業の自律的成長を実現しつつ、将来の協働の検討を進めます。
- 最後に、東南アジアは、国ごとに異なる特性に合わせたアプローチが必要です。2025年は新しい剤型やチャネルの開拓に着手しつつ、各国での承認獲得に向けた取り組みを加速させながら、グループ全体の将来構想を具体化する一年としていきます。
- 私からのご説明は以上となります。
- ご清聴ありがとうございました。

Environment

Lionが持続可能なビールの製造に向けて水資源のリサイクル施設を導入

➤ この施設の導入により、生産準備や洗浄の過程で使用する水資源の最大30%相当の回収が可能

➤ 推計では年間270millionリットルの節水を見込む



詳細はこちら

紅茶農園の持続可能性向上と「麒麟 午後の紅茶」のさらなる安定供給へ

➤ スリランカの一部の紅茶農園を対象に環境再生型農業の実践をサポートする「リジェネラティブ・ティー・スコアカード」の運用を、レインフォレスト・アライアンスと共同で開始



詳細はこちら

Social

スリランカ産紅茶葉の持続的調達に向けた人権デューデリジェンス実施

➤ 「麒麟 午後の紅茶」で使用している紅茶葉の持続的な調達の実現に向けて、三井農林(株)と協働でスリランカの紅茶農園を対象とした人権デューデリジェンスの取り組みを開始



詳細はこちら

外部評価

日経SDGs経営調査総合ランキングで最高位を獲得

日経SDGs経営調査の「SDGs経営」総合ランキングにおいて、2019年の第1回より6年連続で最高位獲得



詳細はこちら

PRIDE指標*の最高評価「ゴールド」を受賞

LGBTQ+に関する取り組みに対する評価指標「PRIDE指標 2024」において、最高評価を8年連続で受賞



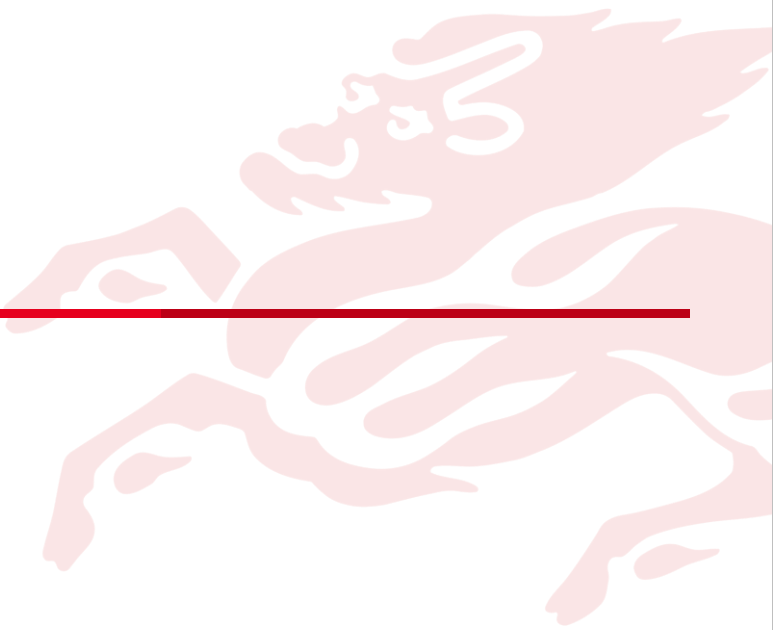
詳細はこちら

*「PRIDE指標」は、Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度、プログラム）、Engagement／Empowerment（社会貢献／渉外活動）の5つの項目でLGBTQ+の施策を評価するもの



資料編

Joy brings us together



(億円)		2024年実績	2023年実績
親会社の所有者に帰属する当期利益	①	582	1,127
税金等調整後その他営業収益／費用等	②	808	306
平準化 当期利益	③ = ① + ②	1,391	1,433
期中平均株式数（千株）	④	809,944	809,853
平準化EPS*（円）	③ ÷ ④	172円	177円

*2024年までの実績については、従来の平準化当期利益の計算方法で算出
平準化EPS = 平準化当期利益 / 期中平均株式数
平準化当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益 ± 税金等調整後その他の営業収益・費用等

2024年度 実績：セグメント別 売上収益



(億円)		2024年実績	2023年実績	増減	%
連結 売上収益		23,384	21,344	2,040	9.6%
酒類		10,817	10,451	366	3.5%
	麒麟ビール	6,627	6,481	146	2.3%
	Lion	2,947	2,811	137	4.9%
	うち豪州・NZ	2,030	1,988	41	2.1%
	うち北米クラフト他	917	823	95	11.5%
	Four Roses	274	245	29	11.7%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	969	914	54	5.9%
飲料		5,649	5,162	487	9.4%
	麒麟ビバレッジ	2,688	2,578	110	4.3%
	Coke Northeast	2,869	2,501	368	14.7%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	92	82	9	11.4%
医薬		4,953	4,419	534	12.1%
	協和麒麟	4,956	4,422	533	12.1%
	セグメント間取引消去	-3	-4	1	-
ヘルスサイエンス		1,753	1,034	719	69.6%
	FANCL	345	-	345	-
	Blackmores	691	320	371	116.1%
	協和発酵バイオ	502	514	-13	-2.4%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	215	199	15	7.7%
その他		213	278	-66	-23.6%

2024年度 実績：セグメント別 事業利益



(億円)		2024年実績	2023年実績	増減	%
連結 事業利益		2,110	2,015	95	4.7%
酒類		1,240	1,199	41	3.4%
	麒麟ビール	751	729	22	3.0%
	Lion	314	324	-10	-3.2%
	うち豪州・NZ	216	221	-5	-2.2%
	うち北米クラフト他	98	103	-6	-5.3%
	Four Roses	101	90	11	12.4%
	その他	75	57	19	33.1%
飲料		640	524	116	22.2%
	麒麟ビバレッジ	183	169	14	8.1%
	Coke Northeast	443	339	104	30.7%
	その他	14	15	-2	-10.6%
医薬		919	960	-41	-4.3%
	協和麒麟	919	960	-41	-4.3%
ヘルスサイエンス		-109	-125	16	—
	FANCL	20	—	20	—
	Blackmores	60	-5	65	—
	協和発酵バイオ	-140	-85	-55	—
	その他	-49	-36	-14	—
その他		0	-1	1	—
全社費用・セグメント間取引消去		-580	-542	-39	—

2025年度 予想 : EPS／平準化EPS 明細



(億円)		2025年計画 EPS	2024年実績 平準化EPS
親会社の所有者に帰属する当期利益	①	1,500	582
税金等調整後その他営業収益／費用 + 持分法による投資の売却損益	②	—	594
その他調整額	③	—	215
当期利益	④ = ① + ② + ③	1,500	平準化当期利益 1,391
期中平均株式数 (千株)	⑤	809,944	809,944
EPS (円)	④ ÷ ⑤	185円	平準化EPS 172円

- ▶ 平準化EPSの算定式については今回より変更する (“2027年に向けた計画”内Appendix参照)
- ▶ ②の税引後その他営業収益・費用等に使用する税率は、簡便的に日本の法定実効税率(30.6%)を使用。
- ▶ 日本の法定実効税率と異なる事象については調整表にて開示する。

その他調整額 明細 (億円)	調整額
協和キリンに係る持分割合調整	-27
持分法投資会社の減損	193
FANCL株式段階取得差損の税額調整	56
その他	-7
合計	215

2025年度 予想 : セグメント別 売上収益



(億円)		2025年予想	2024年実績	増減	%
連結 売上収益		24,400	23,384	1,016	4.3%
酒類	麒麟ビール	10,878	10,817	61	0.6%
	Lion	6,719	6,627	92	1.4%
	うち豪州・NZ	2,931	2,947	-17	-0.6%
	うち北米クラフト他	1,982	2,030	-48	-2.4%
	Four Roses	949	917	31	3.4%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	278	274	4	1.5%
飲料		950	969	-18	-1.9%
	麒麟ビバレッジ	5,763	5,649	115	2.0%
	Coke Northeast	2,816	2,688	128	4.8%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	2,850	2,869	-19	-0.7%
医薬		97	92	5	5.8%
	協和麒麟	4,780	4,953	-173	-3.5%
	セグメント間取引消去	4,780	4,956	-176	-3.5%
ヘルスサイエンス		-	-3	3	-
	FANCL	2,600	1,753	848	48.4%
	Blackmores	1,160	345	815	236.2%
	協和発酵バイオ	705	691	14	2.0%
	その他・内部及びセグメント間取引消去	510	502	8	1.6%
その他		225	215	11	5.1%
		379	213	166	78.0%

2025年度 予想：セグメント別 事業利益



(億円)		2025年予想	2024年実績	増減	%
連結 事業利益		2,120	2,110	10	0.5%
酒類		1,303	1,240	63	5.1%
	麒麟ビール	840	751	89	11.9%
	Lion	300	314	-15	-4.3%
	うち豪州・NZ	194	216	-22	-10.1%
	うち北米クラフト他	106	98	8	8.4%
	Four Roses	102	101	1	0.6%
	その他	62	75	-14	-18.1%
飲料		649	640	10	1.5%
	麒麟ビバレッジ	200	183	17	9.6%
	Coke Northeast	435	443	-8	-1.8%
	その他	14	14	0	3.6%
医薬		790	919	-129	-14.0%
	協和麒麟	790	919	-129	-14.0%
ヘルスサイエンス		37	-109	146	—
	FANCL	93	20	73	366.5%
	Blackmores	62	60	2	2.9%
	協和発酵バイオ	-65	-140	75	—
	その他	-53	-49	-4	—
その他		-23	0	-24	—
全社費用・セグメント間取引消去		-636	-580	-56	—

2024年度 実績：キリンビール



(億円)	2024年実績	2023年実績	増減	%
売上収益	6,627	6,481	146	2.3%
酒税抜売上収益	4,023	3,922	101	2.6%
事業利益	751	729	22	3.0%

対前年増減	2023年 事業利益 (億円)	729	主な内容
	酒類等 限界利益増	75	ビール類計 -11億 (ビール類減 -27千kl) ビール類以外計 33億 (RTD増 25千kl、ノンアル減 -1千kl) 他 価格改定・品種構成差異等 53億
	原材料費増	-57	市況の高騰等
	販売費増	-23	販売促進費増 -6億・広告費増 -17億 (計623億→646億)
	その他費用減	27	減価償却費減 他
	計	22	
	2024年 事業利益	751	

(千KL)	2024年実績	2023年実績	増減 %	市場 (カテゴリー)
ビール類計*	1,415	1,442	-1.8%	-3%
RTD	449	424	5.8%	5%
ノンアルコール飲料	42	43	-2.5%	11%

* ビール酒造組合での合意により、ビール類の販売数量実績は、2Q及び4Qのみ開示

一番搾りブランド計	374	370	1.1%	5%
スプリングバレーブランド計	14	21	-34.9%	5%
淡麗グリーンラベル	136	146	-6.6%	-10%**
本麒麟	172	194	-11.6%	-10%**
氷結ブランド計	303	288	5.2%	5%

** 発泡酒・新ジャンル（発泡酒②） 合算のエコノミーカテゴリー 前年比を記載

販売数量前年比	増減 %	市場
ビール類 業務用***	-1%	1%
ビール類 家庭用***	-2%	-3%

*** 業務用：壺・樽・PET商品計、家庭用：缶計



(億円)	2025年予想	2024年実績	増減	%
売上収益	6,719	6,627	92	1.4%
酒税抜売上収益	4,188	4,022	166	4.1%
事業利益	840	751	89	11.9%

2024年 事業利益実績 (億円)		751	主な内容
対前 年 増 減 (億 円)	酒類等 限界利益増	181	ビール類計 -62億 ビール類以外計 +8億 品種構成差異等 +235億
	原材料費減	8	市況影響等
	販売費増	-48	販売促進費・広告費 (計646億→694億)
	その他費用増	-52	修繕費・減価償却費増他
	計	89	
2025年 事業利益予想		840	

(億円)	2025年予想	2024年実績	増減 %
ビール類計*	5,011	5,018	-0.1%
RTD	1,201	1,138	5.5%
ノンアルコール飲料	116	104	12.2%
* 2025年度よりカテゴリー開示は販売数量ベースから金額ベース（売上収益）へ変更（千KL）			
一番搾りブランド計	381	374	1.8%
一番搾り計	296	309	-4.3%
晴れ風	85	73	16.6%
淡麗グリーンラベル	126	136	-7.6%
本麒麟	160	172	-6.9%
氷結ブランド計	293	303	-3.4%

円ベース (億円)

	2024年実績	2023年実績	増減	%
売上収益	2,947	2,811	137	4.9%
うち豪州・NZ	2,030	1,988	42	2.1%
うち北米クラフト他	917	823	95	11.5%
事業利益	314	324	-10	-3.2%
うち豪州・NZ	216	221	-5	-2.2%
うち北米クラフト他	98	103	-6	-5.3%

豪ドルベース (million AUD)

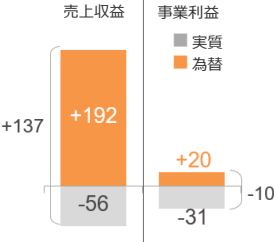
	2024年実績	2023年実績	増減	%
	2,942	3,002	-59	-2.0%
	2,026	2,123	-97	-4.6%
	916	878	38	4.3%
	313	346	-33	-9.5%
	216	236	-20	-8.6%
	97	110	-13	-11.5%

豪州・NZ事業利益増減 (million AUD)

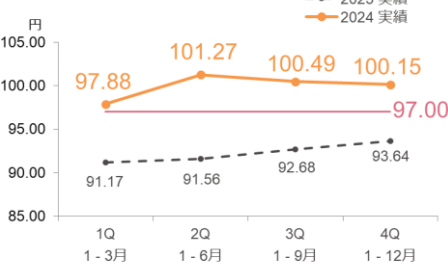
2023年4Q 事業利益	236
数量	-34
豪州・NZ	
その他*	14
2024年4Q 事業利益	216

* 本社コストは、豪州・NZに含む
・ 対前年販売数量増減率は豪州・NZ・北米クラフト他の合計で-3%、豪州のみでは-3%。

連結為替影響
2024年4Q実績 (億円)

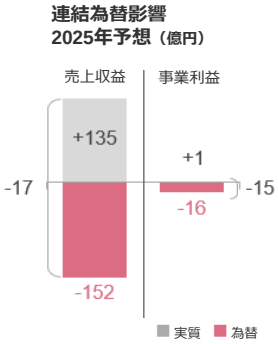


AUD (オーストラリア・ドル)



	円ベース (億円)				豪ドルベース (million AUD)			
	2025年予想	2024年実績	増減	%	2025年予想	2024年実績	増減	%
売上収益	2,931	2,947	-17	-0.6%	3,085	2,942	142	4.6%
うち豪州・NZ	1,982	2,030	-48	-2.4%	2,086	2,026	60	2.9%
うち北米クラフト他	949	917	31	3.4%	998	916	82	8.3%
事業利益	300	314	-15	-4.3%	314	313	1	0.4%
うち豪州・NZ	194	216	-22	-10.1%	203	216	-13	-6.3%
うち北米クラフト他	106	98	8	8.4%	111	97	14	12.5%

通期予想レート：95.00円 (豪ドル)



2024年度 実績 / 2025年度 予想：キリンビバレッジ



(億円)	2024年実績	2023年実績	増減	%
売上収益	2,688	2,578	110	4.3%
事業利益	183	169	14	8.1%

2023年 事業利益 (億円)	169	主な内容
対前年増減*		
清涼飲料限界利益増	44	販売数量増 619万ケース 29億 商品・容器構成差異等 15億
原材料費等増	-26	原料費増 -33億、材料費増 -4億、 加工費減 11億
販売費減	10	販売促進費減 12億、広告費増 -2億 (計256億 → 246億)
その他費用増	-14	
計	14	
2024年 事業利益	183	

(億円)	2025年予想	2024年実績	増減	%
売上収益	2,816	2,688	128	4.8%
ヘルスサイエンス飲料*	473	379	94	24.9%
事業利益	200	183	17	9.6%

販売数量 (万ケース) *	2024年実績	2023年実績	増減 %
清涼飲料計	20,012	19,394	3.2%
ヘルスサイエンス飲料	2,427	2,460	-1.3%
うちプラズマ乳酸菌入り飲料	961	893	7.6%
缶	1,983	2,146	-7.6%
容器別 大型PET	5,573	5,210	7.0%
小型PET	11,062	10,239	8.0%
その他	1,394	1,799	-22.5%

販売数量 (万ケース)	2024年実績	2023年実績	増減 %
ブランド別 午後の紅茶	5,067	5,054	0.3%
生茶	3,114	2,711	14.9%

販売数量 (万ケース)	2025年予想	2024年実績	増減 %
ブランド別 午後の紅茶	5,001	5,067	-1.3%
生茶	2,905	3,114	-6.7%

© Kirin Holdings Company, Limited *2025年度よりヘルスサイエンス飲料は販売数量ベースから金額ベース（売上収益）の開示へ変更し、利益増減の内訳と容器別等の販売数量は非開示

2024年度 実績 / 2025年度 予想 : Coke Northeast



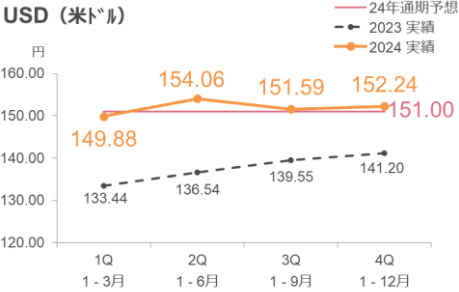
円ベース (億円)				
	2024年実績	2023年実績	増減	%
売上収益	2,869	2,501	368	14.7%
事業利益	443	339	104	30.7%

円ベース (億円)				
	2025年予想	2024年実績	増減	%
売上収益	2,850	2,869	-19	-0.7%
事業利益	435	443	-8	-1.8%

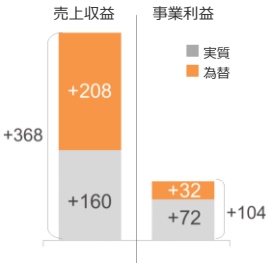
USDベース (million \$)				
	2024年実績	2023年実績	増減	%
売上収益	1,885	1,772	113	6.4%
事業利益	291	240	51	21.2%

USDベース (million \$)				
	2025年予想	2024年実績	増減	%
売上収益	1,966	1,885	81	4.3%
事業利益	300	291	9	3.1%

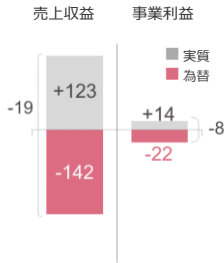
通期予想レート : 145.00円 (米ドル)



連結為替影響
2024年4Q実績 (億円)



連結為替影響
2025年予想 (億円)



2024年度 実績 / 2025年度 予想 : 協和キリン



(億円)	2024年実績	2023年実績	増減	%
売上収益	4,956	4,422	533	12.1%
事業利益	919	960	-41	-4.3%

(億円)	2025年予想	2024年実績	増減	%
売上収益	4,780	4,956	-176	-3.5%
事業利益	790	919	-129	-14.0%

グローバル戦略品
売上収益

(億円)
日本
北米
EMEA
APAC
合計

Crysvita クリスピータ		Poteligeo ポテリジオ	
2024年実績	2023年実績	2024年実績	2023年実績
117	105	18	19
1,300	1,052	297	215
515	351	82	69
33	16	1	0
1,966	1,524	399	303

協和キリンの決算発表はこちら

<https://ir.kyowakirin.com/ja/library/earnings.html>



2025年2月6日現在

	開発中の疾患*1		承認予定年*2	開発ステータス	市場規模*3	患者さんの数*4
Rocatinlimab KHK4083/AMG 451	中等度から重症のアトピー性皮膚炎		2026/2027	P3（グローバル）	★★★★★	16M
	結節性痒疹		TBD	P3（グローバル）	★★★★	1M
	中等度から重症の喘息		TBD	P2（グローバル）	★★★★★	13.5M
Infigratinib	軟骨無形成症		TBD	P3（日本）	★	6K
Ziftomenib	急性骨髄性白血病 (NPM1変異又はKMT2A再構成)	再発・難治	2025 (単剤、米国)	P2（米・欧）	★★★★	20K
		1次治療	TBD	P1（米国）		
KHK4951 tivozanib 点眼	滲出型加齢黄斑変性		TBD	P2（日・米）	★★★★	3810K
	糖尿病黄斑浮腫		TBD	P2（日・米）	★★★★	3470K
OTL-203	Ⅱ型糖尿病（Hurler症候群）		2029/2030	ヒト試験*5 (米・欧)	★	生児出生の 10万人に1人*6
OTL-201	Ⅱ型糖尿病（Sanfilippo症候群A型）		TBD	POC試験*7	★	生児出生の 10万人に1人以下

*1 本資料の発表時点で開発中の疾患であり、最終的に規制当局から承認される適応症とは異なる可能性があります。*2 最初に承認が期待される年です。*3 「開発中の疾患」に対する全製品の総和を基に協和キリンが独自に推計した市場規模です。色付き部分はグローバル、それ以外は日本国内についての値です。★：500億円未満、★★：500億円以上-1000億円未満、★★★：1000億円以上-5000億円未満、★★★★：5000億円以上-1兆円未満、★★★★★：1兆円以上 *4 協和キリン独自の推計値です。色付き部分はグローバル、それ以外は日本国内についての値です。*5 P3試験相当。*6 「10万人に1人」はMPS-IH全体の値であり、Hurler症候群はこのうちの60%になります。*7 P1/2試験相当。



(億円)	2024年実績*	2023年実績	増減	%
売上収益**	345	—	345	—
化粧品(スキンケア)	181	—	181	—
栄養補助食品	145	—	145	—
事業利益***	20	—	20	—

[参考]	
2025年 予想 地域別金額前年比	増減 %
国内	2%
海外	28%

(億円)	2025年予想	2024年実績	増減	%
売上収益**	1,160	345	815	236.2%
化粧品(スキンケア)	644	181	463	255.7%
栄養補助食品	448	145	303	208.5%
事業利益***	93	20	73	366.5%

[参考]
1-12月実績の比較

(億円)	2025年予想	2024年実績	%
売上収益	1,160	1,108	4.6%
化粧品（スキンケア）	644	609	5.7%
栄養補助食品	448	434	3.2%

* 連結取り込み開始は24年4Qからのため、24年実績に3Qまでの実績は含まれない
** その他事業を含む
*** PPA(Purchase Price Allocation)による無形資産等の償却費・一時コスト(暫定値)を含む

2024年度 実績 : Blackmores

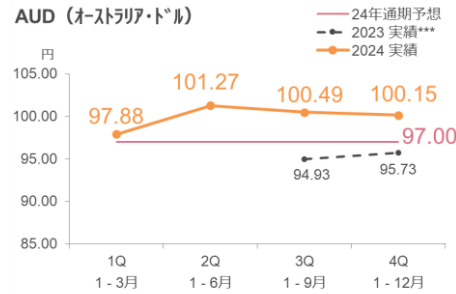


	円ベース (億円)				豪ドルベース (million AUD)			
	2024年 実績	2023年 実績	増減	%	2024年 実績	2023年 実績	増減	%
売上収益*	691	320	371	116.1%	690	334	356	106.6%
豪州・NZ	313	—	—	—	312	—	—	—
東南アジア・韓国	177	—	—	—	176	—	—	—
中国	196	—	—	—	195	—	—	—
事業利益**	60	-5	65	—	60	-5	65	—

* Blackmores連結取り込み開始は23年3Qのため、2023年実績に1Q・2Qの実績は含まれない

[参考]

	豪ドルベース (million AUD)		
	2024年 実績	2023年 実績	%
売上収益*	690	654	5.5%
豪州・NZ	312	299	4.3%
東南アジア・韓国	176	169	4.5%
中国	195	182	7.5%



*** 3Q:7-9月実績、4Q:7-12月実績

	円ベース (億円)				豪ドルベース (million AUD)			
	2025年 予想	2024年 実績	増減	%	2025年 予想	2024年 実績	増減	%
売上収益*	705	691	14	2.0%	742	690	52	7.5%
豪州・NZ	—	313	—	—	—	312	—	+一桁半ば%
東南アジア・韓国	—	177	—	—	—	176	—	+二桁%
中国	—	196	—	—	—	195	—	+二桁%
事業利益**	62	60	2	2.9%	65	60	5	8.5%

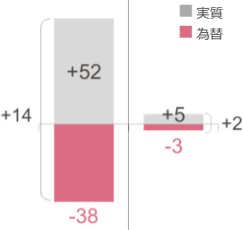
通期予想レート : 95.00円 (豪ドル)

連結為替影響

2025年予想 (億円)

売上収益

事業利益



年初に実施された酒税増に対する価格改定を、販売動向を鑑み9月に後ろ倒ししたことの影響を受けEBITDAは微減するも、為替影響により円ベースの受取配当金は増加。

(百万ペソ)	2023年10月-2024年9月		前年同期
	実績	増減 %	実績
売上高*	150,234	3.2%	145,576
営業利益*	30,727	-2.2%	31,404
営業利益率	20.5%	-1.1%	21.6%
減価償却費及び償却費他*	7,441	4.8%	7,100
EBITDA (営業利益 + 減価償却費及び償却費他)	38,168	-0.9%	38,504

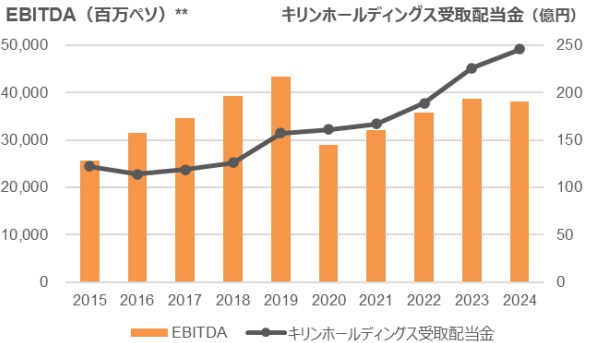
* 現地開示ベース (キリンホールディングス 2024年度4Q決算への取り込み期間：2023年10月～2024年9月)
出所：San Miguel Brewery Inc. Financial Highlights, Quarterly Reports

持分法による連結取込み及びキリンホールディングス受取配当金

(億円)	2024年 実績	2023年 実績	増減 %
当期利益 (SMB)	650	631	3.0%
連結取込	310	303	2.1%
配当金 (億円)	246	226	8.5%
1株当たり配当金 (ペソ)	1.2	1.2	—

為替レート：1ペソ = 2.66円 (前年同期：2.52円)
(キリンホールディングス 2024年度4Q決算への取り込み期間：2023年10月～2024年9月)
配当金についてはキャッシュインベースで計上

EBITDAと受取配当金の推移



- フィリピンの2025年GDP予測は約6%***
- 堅調な内需が成長を牽引し、2025年以降も同程度の経済成長率で推移すると予測***
- San Miguel Breweryのフィリピンでの市場シェアは9割を超える



(億円)	2024年実績	2023年実績	増減
資産合計	33,542	28,696	4,846
資本合計	15,337	14,258	1,079
負債合計	18,204	14,437	3,767
ROIC*	4.1	8.0	—
グロスDEレシオ	0.73	0.58	—
ネットDebt／平準化EBITDA**	2.39	1.79	—
PBR(株価純資産倍率) ***	1.4	1.5	—

ROIC・ネットDebt／平準化EBITDAは4Qのみ開示

(億円)	2024年実績	2023年実績	増減
営業活動CF	2,428	2,032	396
投資活動CF	-3,294	-2,261	-1,033
フリーCF	-865	-229	-636
財務活動CF	581	359	222

* 利払前税引後利益／(有利子負債の期首期末平均＋資本合計の期首期末平均) にて算出
** 平準化EBITDA＝事業利益＋減価償却費及び償却費(注)＋持分法適用会社からの受取配当金にて算出
(注) 減価償却費及び償却費は使用権資産の償却費を除いております。
*** 期末株価終値／(親会社の所有者に帰属する持分／期末発行済株式数(自己株式除く)) にて算出



財政状態計算書

▶ **資産合計**：FANCLの連結子会社化に伴う有形固定資産、のれん、無形資産の増加等により、前年度末に比べ4,846億円増加して3兆3,542億円となりました。

▶ **資本合計**：FANCLの連結子会社化に伴う非支配持分の増加及び為替変動の影響等によるその他の資本の構成要素の増加等により、前年度末に比べ1,079億円増加して1兆5,337億円となりました。

▶ **負債合計**：FANCLの連結子会社化に伴う繰延税金負債の増加及び新規借入等による社債及び借入金の増加等により、前年度末に比べ3,767億円増加して1兆8,204億円となりました。

▶ **ROIC**：利払前税引後利益が41%減少したことに加え、資本合計と有利子負債の期初期末平均の合計が16%増加したことから、前年度末から減少しました。

▶ **ネットDebt／平準化EBITDA**：平準化EBITDAは5%の増加となった一方で、ネットDebtが41%増加したことから、前年度末から増加しました。

▶ **グロスDEレシオ**：親会社の所有者に帰属する持分が4%増加した一方で、

有利子負債が31%増加となったことから、前年度末から増加しました。

▶ **PBR**：期末株価終値が-1%と下降したことに加え、親会社の所有者に帰属する持分が4%増加したことから、前年度末から減少しました。

キャッシュ・フロー計算書

▶ **営業活動CF**：税引前利益として1,397億円、減価償却費及び償却費として957億円を計上しました。一方、前年同期に比べ運転資金の流出は24億円減少、法人所得税の支払額は142億円増加しました。

▶ **投資活動CF**：投資の売却により74億円、有形固定資産及び無形資産の売却により57億円の収入がありました。一方、有形固定資産及び無形資産の取得は前年同期に比べ668億円増加し1,806億円の支出、また、子会社株式の取得により1,598億円を支出しました。

▶ **財務活動CF**：長期借入金の返済により784億円、配当金の支払により727億円、子会社の自己株式の取得により400億円、社債の償還により300億円、リース負債の返済により202億円の支出がありました。一方、長期借入により2,969億円、コマーシャル・ペーパーの増加により130億円の収入がありました。

➤ キリンホールディングス
IR情報



<https://www.kirinholdings.com/jp/investors/>

➤ キリンホールディングス
Investor's Guide*



<https://www.kirinholdings.com/jp/investors/guide/>

➤ キリンホールディングス
統合レポート



<https://www.kirinholdings.com/jp/investors/library/integrated/>

* 「Investor's Guide」は、投資家様向けにキリングループの経営計画、事業概要や各事業の保有意義などをまとめた資料です。

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related financial instruments.

